

Corporate Social Responsibility Report

CSR REPORT 2025

みなさまに信頼され必要とされる
企業であるために

CSR REPORT 2025

トップメッセージ

事業活動と社会的責任

企業理念

経営理念

お客様の定義

ミッション

企業価値

行動基準

コンプライアンス

- ・シーレックスグループ「倫理綱領」
- ・企業倫理相談窓口
- ・各種ハラスメント相談窓口
- ・公正な外注取引
- ・危機管理体制の整備
- ・各種データ

品質保証体制の推進

- ・シーレックス品質方針
- ・品質事故対応
- ・グリーン調達
- ・個人情報保護マネジメントシステムの推進
- ・社内規程・ルールの遵守
- ・シーレックス個人情報保護方針

社会性パフォーマンス

人財の開発・育成

- ・社外研修の受講
- ・新入社員入社時研修
- ・新入社員フォローアップ研修
- ・主管塾(マネジメント研修)
- ・7つの習慣講読会
- ・通信教育講座
- ・オンライン動画学習システム(Schoo)の導入

健康経営

- ・健康経営の推進体制
- ・喫煙率の推移
- ・クラブ活動
- ・その他の主な取り組み

安全で安心な職場環境の実現

- ・基本的人権の尊重
- ・労働安全衛生の推進
- ・AED(自動対外式除細動器)
- ・安否確認システムの操作訓練
- ・災害時の危機管理(防災訓練)

社会・地域社会貢献活動

- ・献血活動
- ・清掃活動
- ・工場見学
- ・使用済み切手の回収
- ・古紙リサイクルで社会貢献

環境パフォーマンス

- ・環境保護体制の推進
- ・シーレックス環境方針
- ・環境ビジョン2024年度評価
- ・CO2の削減
- ・産業廃棄物の削減
- ・ガソリン使用量
- ・水質検査の実施

取得認証・許認可・加入団体等

Top Message トップメッセージ

「存続し続け、社員を幸せにし、100年企業になること」

私たちシーレックスは、「存続し続け、社員を幸せにし、100年企業になること」を会社の目的としています。

印刷市場が年々縮小していく中で、売上100億円超の「印刷加工業」であり続けることに、「誇り」と「こだわり」を持ち、これまでの伝統を大切に守りながらも、絶えず変化する環境に適応するために常に変化し続け、世の中に必要とされ、なくてはならない会社になることにより、存続し続け、100年企業を目指しています。

また私はただ単に会社が長い時間、存続し続ければそれだけで良いとは思っていません。当社で働く社員が幸せでないと会社を存続し続ける意味はないと思っています。だから「社員を幸せにする」ことをあわせて当社の会社の目的としました。では「社員の幸せ」とは一体何なのか？私は何よりも健康でないと人は決して幸せになれないと思っています。だから全ての社員が今よりも健康になるために「健康経営」を推進し、様々な取り組みを行っています。

更に、私は通勤時間を入れると毎日の半分くらいの時間を使っている会社、職場が社員にとって働きがいのある会社、職場でなければならないとも思っています。そのために当社は「働きがいのある会社づくり」に力を入れ、様々な取り組みを行っています。

改めて当社の会社の目的は「存続し続け、社員を幸せにし、100年企業になること」です。今年の6月に当社は創業90周年、設立65周年を迎え、100年企業になるまであと10年になりました。創業100周年を迎える2035年に向けての長期ビジョン【シーレックスグループ2035年ビジョン】「WAKUWAKU CHALLENGE (ワクワク チャレンジ) 2035」ワクワクする未来に挑戦する10年も策定しました。常に変化に適応し、「存続し続け、100年企業になる」とともに、当社で働く全ての社員を幸せにするために「健康経営」と「働きがいのある会社づくり」に今後も取り組んでいきます。

社会に貢献し社会から信頼され、必要とされる唯一無二の会社を目指します

私たちシーレックスは、「ものづくり」を通じて社会に貢献し、社会から信頼され、必要とされる企業をめざし、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。

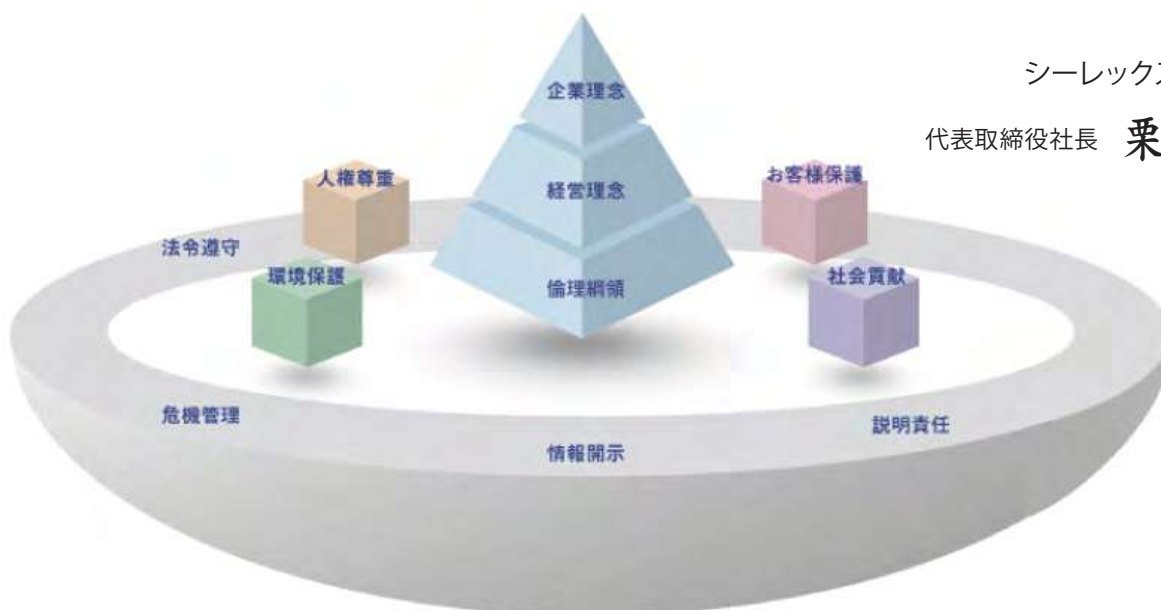
環境保護と持続可能な社会構築への取り組みが急務とされる中、当社は「資源循環プロジェクト」に参画し、「捨てられるラベル台紙をゼロに」をミッションとし、これまで廃棄されてきたラベル台紙を、リサイクルすることが当たり前になる社会の実現を目指して、マテリアルリサイクル（同様な用途の原材料として再生利用すること）ができるラベル台紙の開発に成功し、循環型のリサイクルスキームを確立しました。

こうした活動一つ一つがSDGs（持続可能な開発目標）に繋がっており、これからも当社は社会に貢献し、信頼され、必要とされる企業であり続けるために、創業以来培ってきた技術やノウハウにさらに磨きをかけ、新しい価値を「創造」し、高い目標に「挑戦」し続ける会社として邁進してまいりますので、これまで以上にご支援ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

2025年10月

シーレックス株式会社

代表取締役社長 栗原 敦



事業活動と社会的責任

シーレックスは、様々なシール・ラベルの開発と進化に対応し、その可能性を拡大させてきました。社名“Sealex”の由来は、“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。私たちがなすべきことは、いかなる時代になってもお客様に喜んでいただける「モノづくり」を続けることにほかなりません。より多くの魅力的な商品をお客様にお届けするために、Imagination（創造）の翼を身体いっぱい広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させています。



企業理念

企業理念：創業者の精神・伝統の原点

「創造（クリエイティブ）」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

経営理念

経営理念：経営者の哲学・思考

「挑（チャレンジ）」
「速（スピード）」
「匠（プロフェッショナル）」

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

事業活動と社会的責任

お客様の定義:

シーレックスのお客様の範囲・定義



取引先企業



消費者

シーレックスのお客様の定義は、ご注文を頂いている「取引先企業」だけでなく、我々の作り上げたシール・ラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の皆さまです。私たちは、常に「取引先企業」とシール・ラベルを使っていただいている「消費者」の皆さまのことを考えながら仕事をおこなっています。

ミッション:

企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスの使命は、時代によって移り変わるお客様の要求に柔軟に対応し、シール・ラベルを通じて「安心」と「便利」をお届けします。また品質・価格・納期においては「満足」を、更には、皆さまが生活の中で見たり、触ったりしたとき感じる「悦び」を大切にしたいと考えています。

企業価値: お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供できる価値は何なのか? お客様から選んでいただける会社の価値とは何なのか? 私たちは、お客様からいただいた受注をもとに印刷・加工して、ただ単に提供するのではなく、ラベリングシステムやプリンターといったハードと、さまざまなキャンペーンや広告の企画などのソフトをお客様にご提案しています。

多種・多様なシール・ラベルを24時間、365日、お客様が必要とされる時に必要な数をお届けし、喜んでいただくことがシーレックスの企業価値と考えています。

ひとこと言えば、シーレックスは「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

行動基準: 社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

【行動基準10カ条】

- ①お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。
- ②新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。
- ③何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。
- ④当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。
- ⑤いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。
- ⑥ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。
- ⑦常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。
- ⑧良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動していく。

⇒【環境方針】

- ⑨常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。

⇒【品質方針】

- ⑩個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。

⇒【個人情報保護方針】

シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

社会から信頼され必要とされる企業を目指して

私たちシーレックスグループは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた広い範囲でのルールの遵守と位置づけています。

私たちは公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在になれるよう社内の行動基準として「シーレックスグループ倫理綱領」や「行動基準10カ条」を制定して、関連法規ならびに社会ルールを遵守しています。

シーレックスグループ「倫理綱領」

《顧客、取引先、他社、社会との関係》

1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行わないよう努めます。

7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

シーレックスグループ「倫理綱領」

《従業員との関係》

1. 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

2. プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

3. ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント(嫌がらせ)につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

4. 政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

5. 勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

6. 会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

7. 健康的な職場環境の維持

私たちは、健康的で安全で働きやすかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

8. 正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

9. 中核的労働基準の遵守

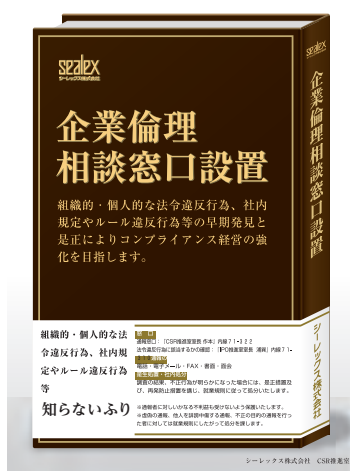
私たちは、中核的労働基準である「児童労働の禁止」、「強制労働の禁止」、「雇用及び職業による差別の撤廃」、「結社の自由と団体交渉権の尊重」を遵守します。

企業倫理相談窓口

シーレックスでは2006年7月に「企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、シーレックスで働く従業員からのあらゆる相談に対応出来る相談窓口を開設しております。

万が一、法令・社内規定・倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに相談窓口へ通報することで早期に問題解決ができる社内制度を構築しております。

これらは、2006年4月に施行された「公益通報者保護法」に準拠しております。



●企業倫理相談窓口ポスター

各種ハラスメント相談窓口

2018年度から産業カウンセラー資格取得者を主要事業所に配置し、社員相談員として従業員の悩みや心配事の相談にのっています。

ストレスチェックは毎年、ハラスメントアンケートは1年おきに実施しています。



危機管理体制の整備(シーレックス事業継続計画書の策定)

シーレックスでは、2007年より大地震や大規模な自然災害により工場やオフィスが被災した場合を想定して事業継続計画(BCP)に取り組んでいます。2011年の東日本大震災を教訓に各事業所で地震などの自然災害を想定した避難訓練や携帯電話を利用した全社の安否確認訓練を実施。また、携帯電話に緊急時用の専用回線を設けたり、停電が起きても業務に支障が出ないようにするため専用電源も整えました。

このように災害対応能力を総合的に向上することにより、お客様への信頼性の確保を実現してまいります。

公正な外注取引

●下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、シーレックスは数多くの協力事業者にご支援をいただいております。協力事業者との公正で適切な外注取引をおこなうには下請法の遵守が必要不可欠となります。シーレックスは、外注取引に関連する部門に対して必要な情報の伝達とコンプライアンス教育をおこない、これからも協力事業者との間でWIN-WINの関係が保てるよう取り組んでまいります。

●基本取引契約書の取り交わし

シーレックスでは、すべての協力事業者との間で「基本取引契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引に努めています。

各種データ

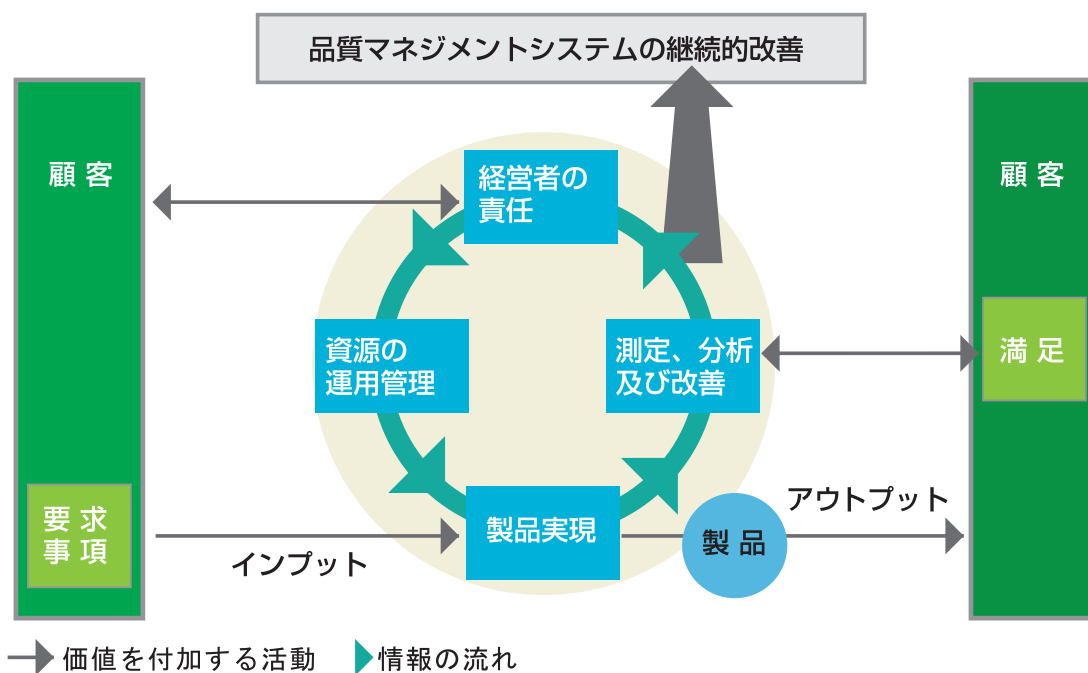
テーマ	管理項目			実績		
	大項目	小項目	単位	2022	2023	2024
労働と人権	従業員の安全衛生	労働災害発生件数	件	7	1	1
		労働災害ゼロ連続最長日数(2020年度の最終発生日からその年度の最長日数)	日	289	284	297
		ストレスチェック受診率	%	100	100	100
	労働条件	有給休暇取得率	%	51	56	54
		欠勤率(全社員の欠勤日数/勤務予定日数×100)	%	0.47	0.95	1.35
		健康保険加入者数(毎年度3/31在籍者)	加入/全社人	398/405	379/386	403/407
		健康保険加入比率(毎年度3/31在籍者)	%	98%	98%	99%
	多様性、公平性と包括性	会社全体に占める女性の割合(毎年度4/1時点)	%	32.2	33.0	33.3
		産前産後休業、育児休業取得率(毎年度3/31時点)	%	100	100	100
	コンプライアンスと倫理	児童労働の有無とその人数	人	0	0	0
腐敗行為の件数		件	0	0	0	
情報セキュリティインシデント件数		件	0	0	0	

品質保証体制の推進

～顧客満足～

シーレックスは、お客様満足を得るためにお客様の要求される品質標準に対応し、環境に配慮したモノづくりをおこなっております。ISO9001規格の要求事項に沿って「品質マネジメントシステム(QMS)」を確立し、継続的に改善に取り組んでいます。

お客様の定義として「お客様=取引先企業+消費者」を掲げ、設計・開発、営業活動から製造、デリバリーに至るすべてのプロセスの品質を保証するため、業務・品証本部が主体となって従業員教育や品質監査を実施し、全社のレベルアップをはかっております。



シーレックス品質方針

「シーレックス株式会社は、シール・ラベルの設計・開発及び製造において、顧客満足の向上を目指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善と向上を行う。」

上記方針を具体的に達成するため、関連部門毎に品質目標を設定し、進捗評価、達成評価を行います。

顧客要求、関連法規制等、当社が守るべき要求事項を順守します。

制定日:2002年11月11日

改訂日:2016年8月1日

品質事故対応

シーレックスは、グループ全体で品質事故の撲滅の活動を展開しております。製造工程においての不良要因を取り除くことはもちろん、製品に求められる品質基準を明確にして、ご満足いただける製品をお届けできるよう全社一丸となって取り組んでいます。

グリーン調達

近年、EU諸国をはじめとする世界各地で製品に関する環境規制が強化されています。(REACH規制*1、RoHS指令*2) シーレックスでは、お取引先とともに原材料や副資材の化学物質管理を図っています。

(*1) EUの化学物質規制で化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制の略称。

(*2) 欧州の電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する規制の略称。

個人情報保護マネジメントシステムの推進

シーレックスでは、“個人情報保護は、社会的責任を果たすだけでなく、お客さまのみならず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造である”と考えております。

お客様からお預かりする個人情報を取り扱う上で、想定されるあらゆるリスクに対応できるようプライバシーマーク（*1）を認証取得し、個人情報保護体制を推進しております。

これからもお客さまに安心して情報をご提供いただける企業を目指して、個人情報保護体制の維持・推進に取り組んでまいります。



(*1) プライバシーマークとは、「JIS Q15001」の要求事項に基づいて、個人情報を管理する仕組みを構築し、維持・推進する体制を整備している事業者の認定制度

社内規程・ルールの遵守

シーレックスでは、個人情報保護規程を整備し社内の各種共通ルールを制定しています。お預かりする個人情報および従業員の情報は、外部者立ち入り禁止エリアで保管管理することやパソコンなどの情報端末は必ずパスワードでアクセス制限をおこなうなど、情報保護に関しての社内教育も定期的に行っています。これらのルールが守られているかどうかは定期的に監査を行い、全社でルールの徹底をはかっています。

シーレックス個人情報保護方針

○ 基本理念

当社は、創業者の精神・伝統の原点である「創造（クリエイティブ）」という企業理念に基づき、新しいサービス、新しい価値を創造してまいりました。

この企業理念実現の基盤の一つとして、当社は、社会の一員として企業の社会的責任を果たすことが非常に重要な活動であると考えております。

今日、個人情報保護は企業としての重要な社会的責務であり、当社においても最も重要な活動の一つとして位置づけ、当社の事業ドメインである、シール印刷に関連したサービスや商品提供において、個人情報保護活動は、社会的責任を果たすだけでなく、お客様のみなさん、あらゆるステークホルダー（利害関係者）に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造であると考えております。

このため、当社では、個人情報保護についての「個人情報保護マネジメントシステム」を制定し、お客様やステークホルダーの皆様の個人情報の適切な管理と保護を行い、その信頼にお応えいたします。

○ 基本方針

1. 当社は、シール印刷等、当社の業務を遂行するために個人情報を取得する際には、利用目的を具体的に特定し、その利用目的の範囲内で利用及び提供を行います。また、本人から同意を得た利用目的を超えた利用又は提供を行う場合は、事前に本人の同意を得るものとします。
2. 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
3. 当社は、当社が取り扱う個人情報の漏えい、滅失、き損及び個人情報への不正アクセスを防止するとともに、それら個人情報保護対策の是正に努めます。
4. 当社は、当社が取り扱う個人情報に関する個人情報相談窓口を設置し、苦情、相談、及びその他問い合わせに適切に対応いたします。
5. 当社は、個人情報保護の活動を日々向上させるために、個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を行います。

制定日：2002年11月11日
改訂日：2017年3月3日
シーレックス株式会社
代表取締役社長 栗原 敦

人財の開発・育成 ～創造の源泉は人～

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく、「人財」であること、これまで人の持つ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。「創造の源泉は人」人財の開発・育成にこれまで以上に取り組んでまいります。

生き残るのは強いものでも賢いものでもなく変化する者
自ら新しい変化を取り入れ、自らを「変革」することこそ未来につながる繁栄のカギ

社外研修の受講

「7つの習慣公開講座」に管理職4名が参加しました。
「戦略的管理者育成研修」に管理職2名が参加しました。

新入社員入社時研修

新入社員10名に対し、シーレックスの歴史、取り扱い製品について、仕事の進め方など、働く上で基本となる研修をオンラインで実施しました。

新入社員フォローアップ研修

新入社員10名に対し、フォローアップ研修を実施しました。研修の内容は、働いて半年がたった時点で「仕事の進め方の基本」をおさらいし、半年経って出来たこと、出来なかったこと、今後の目標などオンラインで仲間や先輩と理解を深めました。



●新入社員入社時研修



●新入社員フォローアップ研修

主管塾(マネジメント研修)

2024年5月～2024年12月



●主管塾(マネジメント研修)

7つの習慣講読会

2024年6月～2025年3月



●7つの習慣講読会

通信教育講座

自己啓発のために社員が自由に選んで受講できる通信教育講座を用意しています。なお、当社では、自己啓発とは別に会社が指定した通信教育講座の修了が昇格要件の一つとなっています。

オンライン動画学習システム(Schoo)の導入

インターネット環境があれば、場所も時間も選ばずに8,500の授業から基礎～最新のスキルや知識を学べる動画学習サービスを2024年7月に導入しました。

健康経営

「健康経営優良法人2024 (中小規模法人) 認定」、「銀の認定」取得

経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2024 (中小規模法人)」に認定されました。

健康保険組合連合会東京連合会の「銀の認定」は昨年に続き2年連続となります(健康優良企業認定番号 健銀第2392号)。

健康管理システムの導入、全社ウォーキングイベント実施を新たに行うなど、積極的に健康経営、職場の健康づくりに取り組んだ結果が評価されました。



健康経営の推進体制



各種研修

皆がより健康で働きやすい環境をつくるため、全員を対象に研修を行っています。今年度よりセルフケア研修と女性特有の健康課題についての研修を始めました。管理職向けに行っているラインケア研修と共に毎年学びを深めていきます。

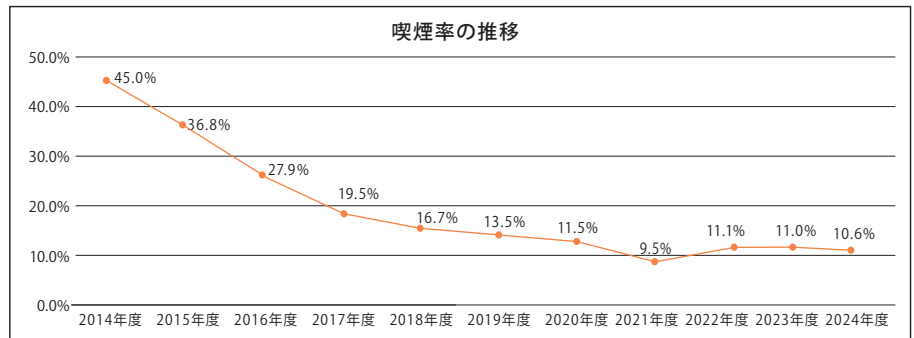
全社イベント

昨年度導入した健康管理システムWellGoのアプリを活用し、全社ウォーキングイベントや朝ごはんを食べようイベントを開催しました。楽しみながら健康に意識を向けられる取り組みを行っています。



喫煙率の推移

当社では、従業員の喫煙率を下げるため目標管理制度に禁煙加点を取り入れています。喫煙率10%未満を目標に取り組みました。



クラブ活動

健康の保持・増進、文化・教養の啓発を目的とし社内クラブ活動に補助金を支給しており、活発なクラブ活動が行われています。



●野球部



●ランニングクラブ



●フィットサル部

その他の主な取り組み

- 健康キャンペーンの実施 (BMI・ウォーキング・禁煙)
- 健康関連費用補助 (人間ドック・乳がん検査・子宮がん検査 禁煙治療・インフルエンザ予防接種)
- 婦人健診、人間ドックの勤務時間内受診を認める
- 喫煙者の新卒採用及び中途採用は行わない

- 契約スポーツ施設利用料会社補助
- 健康イベント開催 (健康測定会、食事指導)
- 社内・社外に相談窓口
- ラジオ体操実施

安全で安心な職場環境の実現（社員とともに）

従業員に対する最も基本的な責任として、安全で安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

基本的人権の尊重

あらゆる場面において個人の尊厳の確保に取り組むこと、人種・民族・国籍・宗教・性別・身体的特徴などを理由とした差別をいっさい行わないことを「シーレックス倫理綱領」に謳い、社内に周知および徹底をはかっております。特に、セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの防止を含めた基本的人権の尊重については、管理職研修の実施や専用の相談窓口を設置するなど、問題の解決や防止に努めています。



●法令遵守ブック

労働安全衛生の推進

労使による安全衛生委員会を定期開催し、安全教育や安全対策に取り組んでいます。

特に、生産部門においては、「安全ヒヤリハット」や「危険作業のリスクアセスメント」を実施し、職場内の安全意識の向上による労働災害の撲滅を目指しています。

	労働災害件数	休業災害
2022年	7	0
2023年	1	0
2024年	1	0

AED（自動対外式除細動器）

助かる命を助けるために」をスローガンに定期的に普通救命講習会を開催しております。“いざ”という時に備え、2007年に導入したAED（自動対外式除細動器）の取り扱いについても出来るだけ多くの人を取り扱える講習を受けています。



安否確認システムの操作訓練

当社では災害時の安否確認を迅速に行うため、セコムの安否確認システムを導入しております。システムになれるために操作訓練を実施しました。24時間後の応答率は94%を維持しております



災害時の危機管理（防災訓練）

地震などの自然災害や火災などに備え、定期的に避難訓練や消防訓練を実施しています。

東日本大震災を契機に、危機管理に対する考え方や基準を見直し、災害時の危機管理体制の充実をはかっております。



●本社避難訓練の様子

社会・地域社会貢献活動 (地域とともに)

私たちは、良き企業市民として、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会との共生を図っていくことが重要な活動と捉えています。地域に根ざした企業を目指し、各地の事業所でさまざまな社会貢献活動をおこなっております。

献血活動

シーレックスでは毎年、献血活動に参加しています。



清掃活動

シーレックスでは、継続して清掃活動を実施しています。



●本社



●大阪支店



●東北工場



●兵庫工場



●札幌オフィス



●東北営業所



●開発部



●名古屋営業所



●京都営業所



●広島営業所



●金沢オフィス



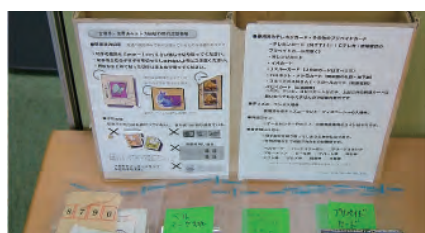
●福岡営業所

工場見学

シーレックスは、地元に着した企業を目指して、地域とのコミュニケーションを大切にしています。工場では、地域の皆様により親しんでいただけるよう高校生の工場見学など、積極的に取り組んでいます。

使用済み切手の回収

名古屋営業所では、使用済みの切手を集めボランティア団体に送り、アジア・アフリカの植林活動や途上国の子供たちの支援に役立ててもらっています。



古紙リサイクルで社会貢献

東北工場では、古紙リサイクルで発生する利益の一部を地域団体(スポーツ少年団など)に寄付し、地域の子供たちの活動を支援するプロジェクト「Pocci!(ポッチ)」に参画しています。



シーレックスグループは、“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務とし、環境と調和した循環型社会を目指し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。



環境保護体制の推進

シーレックスは、1999年に環境マネジメントシステム (ISO14001:EMS) の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。グループ会社を含めた10事業所でCO2の削減や産業廃棄

物の削減、使用禁止化学物質の管理など、環境に影響を及ぼす側面の改善に取り組んでいます。また、これまでに比べゴミが少ないラベルや地球環境にやさしい材料を使用したラベルなどの環境配慮型製品の販売、さらに、

印刷工程で揮発性有機溶剤を使用せず、CO2の排出量を削減できる水性フレキソ印刷などの技術開発を推進しています。

シーレックス環境方針

○ 基本理念

シーレックスは『“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代に引き継ぐことは私たちの責務』とし、生物多様性の保存と持続可能な循環社会を目指し、調達から消費に至る事業活動の面で環境保護に配慮し行動します。

○ 基本方針

環境目標の設定: 当社事業であるシール・ラベルの設計・開発・製造・サービスの全ての活動領域における環境目標を設定し、環境負荷低減活動を実施することで、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

環境関連法規制等の遵守: 環境に関連する全ての法令・規制および協定を遵守し、環境保護に取り組み、環境マネジメントの継続的維持・改善を図ります。

環境負荷の低減、持続可能な資源の有効利用: 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努め、環境負荷の低減を図ります。

汚染の防止製品化学物質の適切な管理: 環境汚染の防止に取り組み、製品含有化学物質の適切な管理を実践し、人々や環境の保護を図ります。

環境コミュニケーション: 社内の環境教育・外部への啓蒙活動を推進し、社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に積極的に貢献します。

自然の恵みの保全と生物多様性の保護: 自然の恵み(水・海・森林など)に感謝し、適切に保安全管理を行い、生物多様性保護が企業活動を行っていく上で、重要課題のひとつと捉え、すべての事業活動において生物多様性への影響を配慮して、活動します。

改訂日:2021年7月1日

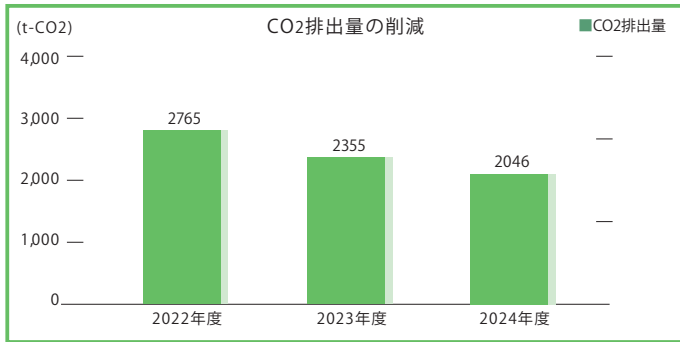
環境ビジョン2024年度評価

シーレックスは、環境理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準:

S:目標を十分に達成した A:目標を達成した B:目標が達成できなかった C:目標を大きく下回った

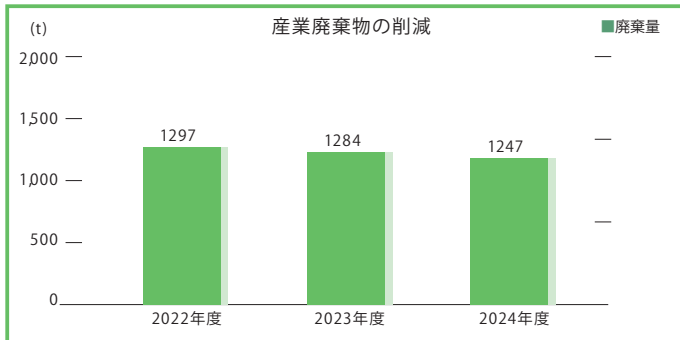
方針	目標	評価
法規制の遵守	水質検査を定期的に行い、水質基準を守る	A
	騒音・振動測定を定期的に行い、基準を守る	A
	産業廃棄物の管理を継続的に行う	A
	材料および副資材の購入において使用禁止化学物質の含有調査管理を行う	A
CO2の削減	電気消費量の削減、ガソリン消費量の削減に取り組み、CO2の削減につなげる	A
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の排出量の削減を図る	A
リサイクル化の推進	リサイクル率 98%以上を維持する	A
省資源の推進	材料在庫の削減、在庫品の削減、再加工の削減	A
環境配慮型製品の開発	環境配慮型製品を一定目標金額以上販売し、環境に配慮した開発品に取り組み	A
グリーン購入の推進	事務用品などの購入品はグリーン購入ガイドラインに準じて行う	A



CO2の削減

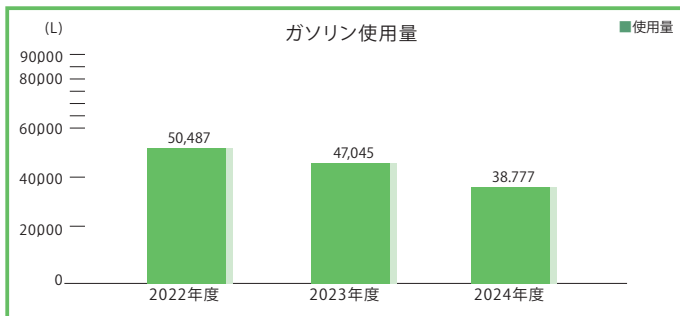
シーレックスでは節電やガソリン消費量の削減を通じて、CO2の削減に取り組んでいます。

2024年度はガソリン使用量の減少や、社内啓発による節電活動により、CO2の排出量を抑えることができました。



産業廃棄物の削減

2024年度の排出量も、ほぼ横ばいとなりました。シーレックスではルールに基づき廃棄物を分別することで、産業廃棄物の削減に取り組んでいます。分別された廃棄物は、サーマルリサイクル（固形燃料化）や再資源化が図られ、99%に近いリサイクル率を維持しています。リデュース・リユース・リサイクルの環境保全活動に取り組んでいます。



ガソリン使用量

シーレックスでは社有車の更新にあたり、ECO CAR（ハイブリッド車など）への転換を進め、少しずつガソリン使用量の削減につながっています。2024年度は社有車の台数と移動距離の減少に伴い、ガソリン使用量が減少しました。

水質検査の実施

定期的に水質検査を実施し、水質の汚濁管理をしています。

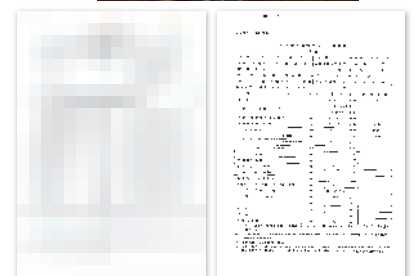
2024年度水質検査結果

<兵庫工場>

計量項目	単位	基準	結果
水素イオン濃度 (PH)	-	5.8~8.6	7.3
浮遊物質 (SS)	mg/L	130	33
化学的酸素消費量 (COD)	mg/L	100	7.7
生物化学的酸素消費量 (BOD)	mg/L	100	12
全リン	mg/L	16	0.06
大腸菌数	個/cm3	3,000	0
全窒素	mg/L	120	1.3
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	15	0.5未満
クロム	mg/L	0.35	0.02未満
フッ素化合物	mg/L	15	0.12

<東北工場>

計量項目	単位	基準	結果
水素イオン濃度 (PH)	-	5.7~8.7	6.8
浮遊物質 (SS)	mg/L	300	9
生物化学的酸素消費量 (BOD)	mg/L	100	13
ヨウ素消費量	mg/L	220	1未満
銅含有量	mg/L	3	0.1未満
亜鉛含有量	mg/L	5	0.1未満
溶解性鉄含有量	mg/L	10	0.1未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5	0.9
溶解性マンガン含有量	mg/L	10	0.1未満



● 水質管理報告書

取得認証・許認可・加入団体等

【国際規格】



ISO14001
E0308

ISO14001:2015 (環境マネジメントシステム)



ISO9001
Q3649

ISO9001:2015 (品質マネジメントシステム)



Sedex / SMETA (倫理監査)



EcoVadis

(サステナビリティ・サプライチェーン評価)



責任ある森林管理
のマーク

FSC®CoC 認証 (森林認証制度)

【国内規格】



プライバシーマーク
JISQ15001

JISQ15001: (プライバシーマーク)

【加入団体】



クリーン・オーシャン・マテリアル・
アライアンス (略称:CLOMA)



一般社団法人
日本自動認識システム協会 (略称:JAISA)



資源循環プロジェクト
Resource Recycling Project

資源循環プロジェクト

【取得許認可】

建設業許可 (機械器具設置工事業)

【健康経営】



健康経営優良法人2025
(中小規模法人) 認定



銀の認定